

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 25 日 作成  
21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		PTA連絡協議会活動支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連										
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名	高木 敏明							
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり			所属課	生涯学習課	担当者名	田中政吉							
	基本事業	59	地域における子育て支援			所属班	生涯学習班	(内線)	1504							
予算科目	会計	1	款	10	項	5	目	1	事業連番	10597	法令根拠	合志市社会教育団体活動事業補助金交付要綱	成果優先度評価結果	12	コスト削減優先度評価結果	6
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S48 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)										

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	市内小中学校PTAの連絡協議会への補助金の交付 市内小中学校のPTA連絡協議会の支援を目的に始まったが、始まった年代は特定できない。 子どもを取り巻く社会的環境はますます厳しさを増している。子育ての問題がより重要視されていく中、今後家庭、学校、地域の連帯した取組みが求められている。
【業務の流れ】	PTA連絡協議会長から補助金交付申請書を受取る。申請書審査後、交付決定となれば交付決定書を発行してPTA連絡協議会長から請求書を受け、補助金を交付する。年度事業終了後は、事業実績報告書を提出していただく。
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	地域における子育てを、保護者たちが主体的に推進することを求める意見がある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO) 合志市PTA連絡協議会(小学校7・中学校3)に対して、357,000円の補助金を交付	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 合志市PTA連絡協議会(小学校7・中学校3)に対して、357,000円の補助金を交付
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 ⇒ ア 補助金の額	(単位) 円 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 合志市PTA連絡協議会	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 ⇒ ア PTA連絡協議会の会員数 イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 合志市PTA連絡協議会の活動を活発に行ってもらおう。	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 ⇒ ア PTA連絡協議会の活動に参加した会員数 イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 団体活動促進のために参加した人数を設定	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア 円	397,000	357,000	357,000	375,000	357,000	357,000	357,000	
⑤ 対象指標	ア 人	4,400	4,400	4,400	4,497	4,500	4,550	4,600	
⑥ 成果指標	ア 人	未集計	2,500	2,600	1,337	2,300	2,400	2,500	
事業費 投入量	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	397	357	357	357	357	357	357
	(A) 事業費計	千円	397	357	357	357	357	357	357
(A)のうち指定経費	千円								
(A)のうち時間外、特勤	千円								
正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1	
延べ業務時間	時間	20	20	20	20	20	20	20	
(B)人件費計	千円	79	80	80	80	80	80	80	
トータルコスト(A)+(B)	千円	476	437	437	437	437	437	437	

総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	0
(期間限定複数年度のみ記載)	0
	0

合志市

事務事業名	PTA連絡協議会活動支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	----------------	-----	----------	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

学校、PTAとの連携が図れ充実した事業を実施できた。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止     休止     目的再設定     事業統廃合・連携     事業のやり方改善(有効性改善)  
 事業のやり方改善(効率性改善)     事業のやり方改善(公平性改善)  
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果  
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策